

センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm挿入筋・ロッキング) 金属胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

2) 胴縁概要図

挿入筋構法

- アタッチメントをALCパネル1枚につき中央部1ヶ所に、ALC用アンカーで留め付けます。原則ALC用アンカーははさみ固定式で取り付けますが、最低1ヶ所はALC用アンカーはさみ固定式を使用し、屋内側に躯体や内装材があり施工できない場合は、ALC用アンカーねじ込み式とします。
- ALC用ビスを用いて、金属胴縁15一般部用は上下交互に300mm以下の間隔で、金属胴縁15接合部用は455mm以下の間隔で各金属胴縁のビス孔大(φ6.5mm)に留め付けます。ただし、ALCパネル端部から75mm程度の位置に、ALC用ビスを1本増し打ちします。
- 出入隅部・開口部まわりの金属胴縁15は、ALC用ビスで留め付けます。
- ALC用アンカーでALCを貫通させた部分の周囲には、捨てシーリングを施工します。
- ALC用アンカー・ビスの設定は、物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。

